

	発行者	東京書籍株式会社	教育出版株式会社
	書名	新編 新しい 書写	小学 書写
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	児童が、読む人を思って丁寧な字を書くために、どこをどうすれば字が整い、読む人に伝わる文字になるのかを学習することをねらいとしている。	文字を整えて書く原理原則を理解し、自分のめあてと向き合って書く過程を通して、学び方を身に付け、工夫する過程を通して伝え方を身に付け、生涯にわたって豊かな文字の使い手になることをねらいとしている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①学習のねらいの明確化・焦点化。「書写のかぎ」⇒文字を整えて書くための知識・技能。 ③幅広い知識と教養を身に付ける。 ③自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自主・自律の精神を養う。	①全学年で学習した内容を振り返ることができるように構成されている。
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①毛筆を使用する学習が硬筆で書く力の基礎となるように、単元が構成されている。 ①系統的に単元を配列し、螺旋的に学習ができるように工夫されている。 ①表紙裏にインデックスに示し、系統性を意識できるように工夫している。 ②絵日記や生活作文など、国語科と連動させた言語活動となっている。 ②教材に関する図書を紹介し読書活動の充実を図っている。 ②読み仮名や筆順を示し、国語科の学習時期による支障がないように配慮されている。 ②ローマ字表は、英語の教科書で使われる幅の4線であり、英語教科書用に開発されたフォントに近い。 ②他教科と連動している教材には、関連マークが付いている。 ④「文字といっしょに」を通して、伝統と文化を尊重する態度を養う。 ⑧児童作例などは、外国人児童などの日本語指導が必要な児童に配慮されている。 ⑧学習する上で重要な部分に注目できるように、レイアウトや色使いを工夫している。 ⑧左利きの児童への配慮がされている。	①課題選択教材を設け、児童自らの課題解決に向けて取り組む構成にしている。 ② 学習の過程を明確化されており、見通しを持って学習に臨めるように工夫されている。 ②世界各国の書き文字を示したり、英語の年賀状を例示したりするなど、外国語科と関連づけられている。 ②手書きによる2学年分の漢字配当表を各学年の巻末に記載し、国語科と関連づけている。 ②「文字の世界」を通して、多様な文字文化について取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養う。 ⑥6年生で行書を紹介し、中学校の学習へ興味・関心を持つように工夫している。 ⑧左利きの児童への配慮がされている。
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①複式指導、3学期制、2学期制のいずれにも対応できる単元配列がされている。 ②簡明な字形、書き方。 ②書風は健康的で明るく、濃度や筆圧に配慮されている。 ②手書きの硬筆文字の字形や書き方に準拠し、学習に適した教科書体を独自に開発。 ②振り仮名などにユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②余白を含めて半紙の縦横比率に合わせている。 ③文意が理解しやすいように、文節で改行している。 ③ 低学年では、点画の書き方の特徴をイラストと擬態語を使って表現している。	① 各学年、年間 30～35 単位時間程度で、限られた時間数の中でも、効果的に学習できるように量や内容の配慮がされている。 ①発達段階や語彙・言語環境などを考慮されており、言葉としても適切で、学習要素が理解しやすい文字や語句を選定している。 ②手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②机に余裕をもって置けるように、B5判サイズ。 ③文章表現は平易で簡潔である。 ③運筆方法が具体的な言葉で示されている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	①硬筆から文字を整えて書くための知識・技能を発見、共有し、毛筆で大きく書くことで確認をし、硬筆で別の文字を書くことで定着を図るように、毛筆・硬筆を効果的に関連させた指導ができるように構成が工夫されている。	①学習の始めに硬筆で「ためし書き」を行い、毛筆で書き方の確認をした後、学習の終わりの「まとめ書き」を硬筆で行うことにより、硬筆と毛筆を関連させ、自己の変容が分かるように工夫されている。
	②適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	②デジタルコンテンツの充実。 ②水書用紙の添付。	②良い姿勢を保つ方法、効率の良い鉛筆や筆の持ち方が習得されるよう構成されている。 ②水書用紙の添付。 ②指でなぞり書きできる教材を多く掲載している。 ②穂先の通り道が分かりやすく示されている。
	③日常の学習や生活に役立つ態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	③横書きの教材を取り入れている。	③横書きの教材を取り入れている。 ③「レッツ・トライ」を通して、ノートの書き方、原稿用紙の書き方や新聞作りなど教科横断的な学習活動や、手紙や招待状など日常生活に活用できるような内容を扱っている。

	発行者	光村図書出版株式会社	
	書名	書写	
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	手で文字を書く文化を次世代につないでいくために、「書く楽しさや達成感が感じられる」「書く力が無理なく身に付く」「学んだことが、日常に生きる」ことをねらいとしている。	
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①学習の基本となる姿勢・運筆を、各学年の巻頭で丁寧に扱っている。 ②文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする場面を設定している。	
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	
	（エ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①3年生より統一された「学習のすすめ方」を提示し、児童が主体的に学習できるように工夫されている。 ①見通しをもって学習できるように、写真で示している。 ①末尾に自己評価欄を設けている。 ②国語科との関連教材や算数科・生活科・理科・外国語科等との関連教材を扱っている。 ②SDGsの達成に向けた工夫がなされている。（4年生にSDGsブック） ③学年のまとめが巻末に配置されており、1年間で学習した内容を定着できるように工夫されている。 ③「書写の言葉」を提示し、用語を理解し、児童自らが活用できるように工夫されている。 ④書き初め、文字の歴史などをコラム等で扱っている。 ⑥1年生巻頭で「しよしやすたーとぶっく」を設け、幼稚園・保育園との接続がスムーズになるように工夫している。 ⑦学習用端末を活用する場面を設定している。 ⑧左手で書く時の手や用具の位置を示した写真を掲載している。また、二次元コードから教科書紙面や動画が用意されている。	
	（オ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①学習のねらいを明確にしてあり、効率的に学習ができるようしている。 ①見通しがひと目で分かるように構成されている。 ②大切なところがすぐに見つけられるように、すっきりとした紙面に構成されている。 ③発達段階に応じた文章で表現されている。 ③分かりやすい図やイラストを理解の助けになるように配置されている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	①毛筆での学習後に、硬筆の課題を設けている。 ①2年生以上の全教材で、他の文字を書くときにも活用できるようにしている。	
	②適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	②水書用紙の添付。 ②点画の書き方の特徴をキャラクターの動きとオノマトペを活用し、筆使いを直感的に理解できるように工夫している。	
	③日常の学習や生活に役立つ態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	③6年生には、小学校での学習内容をまとめた「書写ブック」を設置し、日常に生かせるように工夫されている。 ③家庭でできる取組を紹介している。	